

別記様式

会議結果報告書

令和5年4月7日

会議の名称	志木第二中学校区義務教育学校開校準備委員会（第1回）
開催日時	令和5年3月2日（木）午後1時30分～午後2時30分
開催場所	志木市立志木第二中学校 会議室1
出席委員	柚木委員長、船平副委員長、松本委員、河野委員、磯委員、石井委員、富増委員、工藤委員、三杉委員、臼田委員 (計10人)
欠席委員	なし (計0人)
説明員職氏名	原田学校教育課参与 (計1人)
議題	● 校名の制定方法について
結果	別紙、審議内容の記録のとおり
事務局職員	今野教育政策部長、島村教育政策部次長兼学校教育課長、木村学校教育課主幹兼指導主事、原田学校教育課参与、亀和田学校教育課主査

審議内容の記録（審議経過、結論等）

会議の開始前に会議の公開及び傍聴者の有無について確認を行った。

→傍聴希望者 なし

- 1 開会
- 2 挨拶（出席者の自己紹介含む）
- 3 委員長及び副委員長の選任

● 委員からの互選により、決定

- 委員長 : 柚木委員
- 副委員長 : 船平等員

- 4 議題

● 校名の制定方法について

事務局より、志木第二中学校区義務教育学校の校名の制定方法（募集方法、決定までの流れ）について説明後、質疑を行った。

【以下質疑】

（委員）

公募を実施する際に、全国義務教育学校一覧を市ホームページに参考として提示することはできるか。

（事務局）

全国義務教育学校一覧は、文部科学省ホームページで公開されたものである。現時点では、市ホームページへの添付は予定していない。

（委員）

全国義務教育学校一覧（文部科学省ホームページ）のリンクを市ホームページに貼り付けることもできないか。

（事務局）

検討する。

ただし、資料の元データは、義務教育学校だけでなく、小学校などすべての学校が含まれたデータから抽出した一覧となるため、効果的な方法を検討していく。

(委員)

募集方法について、広報紙以外はどういった方法を想定しているか。

志木第二中学校区に在籍する児童生徒は、学校を通じて応募が可能となっているが配布方法はどのようなのか。

(事務局)

募集方法は、広報紙のほかに市ホームページへの掲載を考えており、市ホームページから募集要項及び応募用紙をダウンロードできるようにする。また、市ホームページの閲覧ができない人向けの対応として、市役所学校教育課及び柳瀬川駅前出張所、志木駅前出張所での配布を予定している。

募集方法については、事前に志木第二中学校区の学校長と打ち合わせを行っており、その中で、「志木第二中学校区に在籍する児童生徒が応募しやすい方法としたい」との意見があったことから、志木第二中学校区については、学校を通じて応募できる方法としたところである。

なお、児童生徒への募集要項及び応募用紙の配布方法については、学校長と相談して決めていく。

(委員)

今回の開校準備委員会で、応募のあった校名案から選定作業を行うことになると思うが、在籍児童生徒に直接応募を募ると500件くらいの応募が予想されるが、選定の方法についてももう少し具体的に教えてほしい。

(事務局)

校名選定の作業は開校準備委員会のメイン作業になると考えているが、他自治体では、応募件数は100～150件くらいの応募となった事例があった。

応募される校名案は、同様の校名、考えの方が多くなることも予想されるため、まずは事務局で一度整理してから開校準備委員会で選定いただくなど、煩雑な方法とならないよう考えていく。

(委員長)

校名の選定に係る委員会は複数回の開催になりそうか。

(事務局)

現段階では1回を予定しているが、場合によっては複数回の開催になることもある。

(委員)

校名の選定は、開校準備委員会で1つに絞るのか。

(事務局)

委員おっしゃるとおり、開校準備委員会で1つに決めてもらいたい。

事例として、各学校で開校準備委員会を設けて校名を選定した自治体もあったが、学校対抗となってしまう、校名案がまとまらず、結果として校名選定がうまくいかなかった事例もあったと聞いている。

こういった事例もあるので、この開校準備委員会で新しい学校をつくるという想いで、1つに選定してもらいたい。

(委員長)

開校準備委員会で決めていただいた校名案を教育委員会へ報告し、最終的には、志木市議会に条例案として上程、決定することとなる。

(事務局)

重ねてのお願いとなるが、新しい学校をつくるという想いで選定いただきたい。

応募のあった校名案を選定する際には、個人情報が出ないように選定方法を考えていく。

(委員)

在籍児童生徒については学校を通じてとなっているが、児童生徒からの応募は「任意とするか」、「必須とするのか」。

また、3校の対応は統一するのか。

(事務局)

開校準備委員会を組織するまでに、3校の学校長とは事前に協議を行ってきたところである。その中で、市内全域一律の募集よりも、志木第二中学校区の在校

生が応募しやすいようにしてもらいたいとの意見をいただいたことから、志木第二中学校区の児童生徒については、学校で配布・収集する方法を設けた。

配布方法については、3校で統一した方法としたいと考えている。

(委員長)

学校としては、配布方法の話は進んでいるか。

(委員)

現時点では決まってないが、3校で統一した方法を決めていきたい。

(委員長)

委員の皆さんは配布方法について考えがあるか。

(委員)

学校で決めてもらえればと思っている。

(委員)

配布方法については、強制的ではなく、希望者が応募すればよいのではないかと。ただし、児童生徒に対する義務教育学校の意識づけ、前を向いて義務教育学校に向かっていくという気持ちの変化の機会を設けてほしい。

(委員)

小学校低学年は、校名を考えることもなかなか難しいと思うので、強制的でなくてよいと思う。ただし、配布方法については、3校で統一した方がよい。

(委員)

応募者によっては、校名・校章をセットにして考える人も多いと思う。今回は、校名の募集となるので、応募用紙の「意味や思い」欄については、文章表現に限定したり、文字数制限をするなど、応募者によって記載方法に差が生じないように注意書きを入れるなどした方がよいと思う。

(事務局)

文章に限定した注意書き等を入れて、募集要項・応募用紙を制定し、募集して

いきたい。

(委員長)

校名の選定について、今回いただいた御意見を踏まえながら、募集要項を制定し、募集を進めていく。校名選定の委員会の開催については、1回を予定するが、状況によって複数回開催も視野に入れながら実施したい。

校章、校歌については、改めて検討が必要なタイミングで開催したい。

(委員)

1つ確認したい。

この開校準備委員会は、校名・校章・校歌を決めるものでよいか。

(委員長)

基本的には、校名・校章・校歌の3事項を決めるものであるが、設置要綱には、所掌事務として、その他の義務教育学校の開校に関する事項を設けてあるため、必要がある場合は開催したい。

(委員)

了解した。

(事務局)

校章・校歌については、検討が必要な時期に事務局から通知をさせていただきますので、その際は出席をお願いしたい。

以 上